

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	オクタン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：OCTANE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：COVERT REVOLT

フレアーの幅 インチ

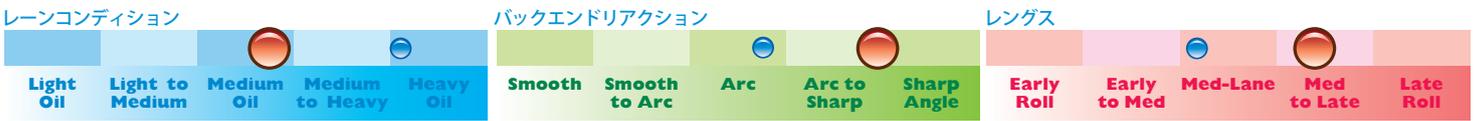
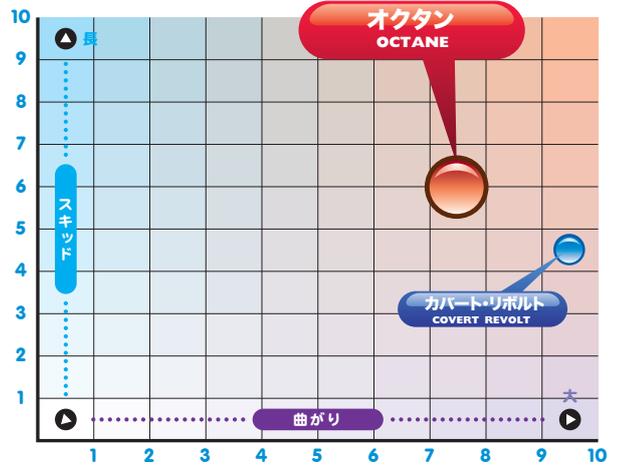
PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

先日PBA Tour (Bear Open)で Ronnie Russell がMOTIV社 Trivalを使用し優勝しました。現在PBA TourでもMOTIV社のボール使用率が高くなり、日本でも人気沸騰中のMOTIVマテリアル。今回ご紹介するのは人気のPrimal Rage、Covert REVOLTと同じ価格帯で、新開発カバーストックのAgility SFX (Skid Frip Xtreme)とQuadfire Coreカバーストックの組み合わせのOctaneです。このOctane開発コンセプトはキャッチの中にもスキッド力を出し、バックエンドが強いリアクションの方向性と言えるでしょう。ですので走りとバックエンドでフリップ系の強さのPrimal Rage、キャッチを伴いながら扱いやすい曲がりと持続するリアクションのCovert Revoltと系統を考えると、Primal Rageの方向性になるのではないかと思います。

私が投球したイメージでは、Primal Rageより若干走る感じがあり、スラッシュシリーズのQuadfire Coreの細かくフレアを刻み、軸移動しながら柔らかくキレてくる感じがしました。やはりOctaneのQuadfire CoreとPrimal RageのV2 Coreの特性がリアクションに現れ、双方同じようにキレルリアクション形態ですが、Octaneのほうが扱い易くキレルイメージでした。オイルの中を泳がして投げても滑るイメージもないのですが、走る印象がイメージできます。オイルに対しての強さを感じますがしっかりスキッドが得られますので、MOTIVファンはもちろんのこと、オイルに対して強めの走り系の性能が欲しい方や、出し戻しのラインに安定感を持たせたい方はこのボールは武器になること間違いありません。

Primal RageからCovert REVOLT、VENOM SHOCKとMOTIV比率が高くなりました。まだ使われたことのない方はこの機会に是非MOTIVの良さを感じてください。

特記事項

Agility SFX (Skid Frip Xtreme)カバーストックとQuadfire Coreの組み合わせで、走りを重視したイメージでバックエンドの動きを強く感じます。扱い易さの中にキレルリアクションを求めるかたはこのボールです。